

防災まちづくりフェアを開催しました

昨年11月25日(日)に当会主催による2回目の「大森中・蒲田・糀谷地区防災まちづくりフェア」を開催しました。当日は気持ちの良い晴天のもと、200名以上の方に参加いただき、防災の必要性などについて学ぶことができました。



防災専門家の講演と災害を想定した意見交換



講演会会場の様子



消防機材ゲーム(ロープ結び講習)



非常食の調理・試食



投てき水バックによる消火体験



スタンプラリー抽選会

来場者アンケートから

- ・ニュースで恐ろしいことを聞くとドキッとしますが、すぐに忘れて無防備になってしまふ。このような催しで再度気づかせていただいてありがたいと思う。
- ・講演会では災害が起きてから各々が取るべき行動を具体的に、順を追って確認できた。

参加した会員などの感想

- ・アルミカンを使ったコンロ作りやロープ結びの体験、講演会などに多数の参加を頂きました。このイベントを通じて、自らの街を自らで守るというまちづくりの目標が、少しでも参加された方に伝わっていればよいなあと思います。

西糀谷タウンウォッチングを行いました



糀谷小学校の備蓄倉庫に乾パン、水、毛布、おむつ、発電機などがありました。



助成制度を利用して狭い道路が広がった場所を見学しました。



事業所でフォークリフト等を見学。その威力に力強さを感じました。

1月26日(土)の午後、西糀谷地区のタウンウォッチングを行いました。これは、自分達の住むまちを良く知り、防災まちづくりに必要なことを考えようという目的で行ったもので、24名の当会会員が参加しました。雪が降ってもおかしくないほど寒い中でタウンウォッチングでしたが、実際に道路が拡幅された場所や防火水槽の場所などが確認でき、有意義な会となりました。

タウンウォッチングで感じたこと

狭い道路などについて

- ・狭い道路がまがらに気が付いた。
- ・隔切り^{※1}の重要性を感じた。
- ・狭い道路^{※2}について、意外と必要性、整備の手段が理解されていないのではないかと感じた。
- ・用水加あとにできた道路は、曲がりくねっていて危険であった。

広場、公園について

- ・一時集合場所の看板がほしい。
- ・避難場所(一時集合場所)の分布が偏っているようである。
- ・駐車場が多く見られたので、災害時に利用できるような協力は得られないか。

水の確保・利用について

- ・防火水槽の近くに市民消防隊のポンプ小屋があり、便利だ。
- ・災害緊急時の飲料水槽が見あたらなかった。
- ・呑川の水の利用を考えてほしい。

地区内の協力、協定づくり

- ・防災機材(フォークリフトなど)を持っている事業所と町会とで災害時の協定を結んでいきたい。
- ・地区にある行政施設の職員、病院などとの協力を考えていきたい。

その他

- ・糀谷小学校は、備蓄倉庫が1階にあり便利だ。
- ・呑川は、災害時に水路として役立つと思うので、資材を引き揚げたりする場所を確保したらよい。

主な視察内容

- ・西糀谷二丁目防災広場予定地
- ・狭い道路拡幅整備助成制度活用事例
- ・フォークリフト、カーゴクレーン等(災害時の救助協力の可能性)
- ・一時集合場所

※1 隔切り：交差点で見通しを良くし、通行しやすくするため、敷地の角を切除する部分
 ※2 狭い道路：道路として利用されながら、4m未満の幅員の狭い道路